

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	みやき町立 立原中学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、生徒アンケートでは、すべての項目について肯定的な回答が過半数であり、好意的な評価を得ている。</li> <li>校内研究を中心として、学びに向かう力を高める指導方法の工夫のため、評価方法を改良をめぐりながら、重点目標達成に向けた共通した教育実践を行うことができた。</li> <li>教職員の働き方改革の推進のため、衛生管理委員会等を活用し業務の見直しを図ることで、全職員が意識した取り組みを行うことができた。</li> <li>2年度も継続して、指導と評価の一体化を目指した授業改善や開発的生徒指導、道徳教育の充実、また働き方改革に全職員で取り組みたい。</li> </ul>
---------------	--

2 学校教育目標	<p>ふるさと中原を担う志をもった生徒の育成 ～自律と協働の学校づくりを通して～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発的生徒指導の推進</li> <li>学力向上のための取組の充実・発展</li> <li>道徳科を中心とした豊かな心の育成</li> <li>切れ目のない生徒の学びを保障する「安全・安心」な教育環境づくり</li> <li>「地域とともにある学校」への転換</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目	重点取組	成果指標 (達成率)	中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者	
			進捗状況 (評価)	進捗状況と見直し	達成状況 (評価)	達成状況			
●学力の向上	●全職員による共通進捗と共通実践	●学力向上対策目標として、学力向上のための取組の成果指標を達成した教師80%以上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究において、指導と評価の一体化を目指し、ふりかえりシートとICTの活用について、研究と共通実践を行っている。</li> <li>全職員が学習状況調査の結果分析を行い、課題に対する共通理解を深めるとともに、授業実践の充実に向けた共通実践を進めている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アンケート調査において、マイプランの成果指標を達成できたと回答した教師は90%、全学年で共通実践を行うことができた。</li> <li>授業の中で1人1枚の学習シートを活用し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりを推進することで、学力の向上に努めている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況調査結果が昨年より伸びていると聞いて良かった。</li> <li>・継続して取り組んでほしい。</li> </ul>	松尾(校内研究)
	○学びに向かう力を高める指導方法の工夫と授業の実践	○12月に行う生徒アンケートにおいて「話し合う活動」及び「授業や課題を行うことで学ぶ意欲が上がる」と回答した生徒80%以上 ○12月までの学力を高めるために、「読み取り」の活動を充実させた教師90%以上	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究等の取組を、自らの日々の授業実践や自己評価に活かしている。</li> <li>「学びに向かう力を高める」ために、校内研究において、各教科の実践例を紹介し、取組の促進を図っている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アンケート調査において、「話し合う活動」及び「理由や根拠を付けて発表ができる」と回答をした生徒は70%。</li> <li>「アンケート調査において、「主体的に授業に取り組み、学力向上に努めている」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「授業で「読み」を重視し、思いや考えを広げ、深い学びをする機会がある」と回答した生徒は92%と高い値を挙げた。</li> <li>「12月の学習状況調査の結果により、基礎基本の学習の徹底や家庭学習の強化を行うため、課題の作成や提出方法を全学年で統一実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生が希望の進路実現ができてよかった。</li> <li>・2年度も卒業生らに感謝、進路実現を促してほしい。</li> <li>・継続して取り組んでほしい。</li> </ul>	黒山(学力向上)
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケート調査で「いじめ・差別・暴力のない学校」と回答した生徒85%以上 ○アンケート調査で「自分らしい心の心をもち行動している」と回答した生徒80%以上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「年度初めに全クラスでいじめに関する道徳・徳育の授業に取り組みする。」</li> <li>「人権週間やいじめ・暴力を考える日」では、生徒主体の取組を行い、生徒や教職員の人権意識を高める。</li> <li>○いじめの根絶を目的とした「いじめ撲滅」学習、学級満足度の向上を目的として、学習の振り返りを行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アンケート調査において、「いじめ・差別・暴力がない学校」と回答した生徒は90%、昨年度の74%を大きく上回った。</li> <li>「アンケート調査で「自分らしい心の心をもち行動している」と回答した生徒は98%と高い値を挙げた。</li> <li>「いじめ・暴力を考える日」では、命の大切さを学ぶ活動、自分らしい学校づくりに取り組む活動などを実施し、いじめ・差別・暴力を許さない学校づくりに取り組んでいる。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度に向けて、行事等で活躍の場が広がれば良いと思う。</li> <li>・継続して取り組んでほしい。</li> </ul>	小林(道徳教育) 植(人権教育)

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目	重点取組	成果指標 (達成率)	中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者		
			進捗状況 (評価)	進捗状況と見直し	達成状況 (評価)	達成状況				
●心身の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○アンケート調査で「いじめ・差別・暴力のない学校」と回答した生徒85%以上 ○アンケート調査で「自分らしい心の心をもち行動している」と回答した生徒80%以上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「12月に行う生徒アンケートにおいて「話し合う活動」及び「授業や課題を行うことで学ぶ意欲が上がる」と回答した生徒80%以上。</li> <li>「12月までの学力を高めるために、「読み取り」の活動を充実させた教師90%以上。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アンケート調査において、「話し合う活動」及び「理由や根拠を付けて発表ができる」と回答をした生徒は70%。</li> <li>「アンケート調査において、「主体的に授業に取り組み、学力向上に努めている」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「授業で「読み」を重視し、思いや考えを広げ、深い学びをする機会がある」と回答した生徒は92%と高い値を挙げた。</li> <li>「12月の学習状況調査の結果により、基礎基本の学習の徹底や家庭学習の強化を行うため、課題の作成や提出方法を全学年で統一実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生が希望の進路実現ができてよかった。</li> <li>・2年度も卒業生らに感謝、進路実現を促してほしい。</li> <li>・継続して取り組んでほしい。</li> </ul>	黒山(学力向上)	
	●望ましい生活習慣の形成	●「早起・早起・朝ごはんを呼びかけ、生徒達成率80%以上、保護者達成率90%」 ●給食後の歯みがきを呼びかけ、生徒の達成率80%以上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「希望する生徒が、早起・朝ごはんの重要性について保健指導を行う。」</li> <li>「保護者や児童が生活習慣が乱れている生徒に個別に保健指導を行う。」</li> <li>「生徒が給食後の歯みがきを呼びかける。」</li> <li>「歯科衛生士による歯の検診を行う。」</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アンケート調査において、「早起・早起・朝ごはん」ができていないと回答した生徒は78%、昨年度の70%を下回った。</li> <li>「アンケート調査で「自分らしい心の心をもち行動している」と回答した生徒は98%と高い値を挙げた。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> <li>「いじめ・差別・暴力を許さない学校」と回答した生徒は90%以上。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣として、時間を守る指導に力を入れてほしい。</li> <li>・継続して取り組んでほしい。</li> </ul>	上野(健康教育)	
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規程に照らした時間外勤務時間の上限を遵守する	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1週1回の定時勤務日を曜日と不定とする。」</li> <li>「夏休み休業日及び冬休み休業日・学校閉校日を設定する。」</li> <li>「週2回、部活動休業日を設定する。うち1日は、月曜日に統一する。」</li> <li>「業務の効率化を図るとともに、職員間で協働する意識を高める。」</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1週1回の定時勤務日を曜日と不定とする。」</li> <li>「夏休み休業日及び冬休み休業日・学校閉校日を設定する。」</li> <li>「週2回、部活動休業日を設定する。うち1日は、月曜日に統一する。」</li> <li>「業務の効率化を図るとともに、職員間で協働する意識を高める。」</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「業務の時間外勤務は、月平均40.1時間であった。時間外定額時間の上昇、10月に比べて45時間以内とするができた。」</li> <li>「業務の時間外勤務は、月平均40.1時間であった。時間外定額時間の上昇、10月に比べて45時間以内とするができた。」</li> <li>「業務の時間外勤務は、月平均40.1時間であった。時間外定額時間の上昇、10月に比べて45時間以内とするができた。」</li> <li>「業務の時間外勤務は、月平均40.1時間であった。時間外定額時間の上昇、10月に比べて45時間以内とするができた。」</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減に向けた取り組みには評価を上げてほしいと思う。</li> <li>・来年度の課題として、継続して取り組んでほしい。</li> </ul>

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月に学校評価アンケートを実施した。保護者及び生徒アンケートでは、すべての項目について肯定的な回答が過半数であり、おおむね好意的な評価を得ることができた。</li> <li>校内研究を中心として、学びに向かう力を高める指導方法の工夫のため、評価と指導の一体化をめざして重点目標達成に向けた共通した教育実践を行うことができた。</li> <li>教職員の働き方改革の推進のため、衛生管理委員会等を活用し、業務の見直しを図ることで、全職員が意識した取り組みを行うことができた。</li> <li>2年度も継続して、主体的な学びに向けた授業づくり、発達支持的生徒指導、道徳教育の充実、また働き方改革に全職員で取り組みたい。</li> </ul>
----------------	--

達成度(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 十分にできています</li> <li>B おおむね達成できています</li> <li>C やや不十分である</li> <li>D 不十分である</li> </ul>
---------	---

様式1(小・中)